

2019年 2月13日

京成電鉄株式会社

## 「人と環境に優しい鉄道」を目指して 新造車両を導入します

- ・3041編成 2月13日(水) 営業運転開始
- ・3042編成 3月1日(金) 営業運転開始予定

京成電鉄(本社:千葉県市川市、社長:小林 敏也)では、昨年9月に導入した3039編成(6両)、3040編成(6両)に続き、新造車両である3041編成(8両)が2月13日(水)より営業運転を開始しました。

この3000形車両は「人と環境に優しい鉄道」をコンセプトに2003年から導入しています。前回導入に続き、4か国語(日・英・中・韓)でのご案内が可能な17インチLCD(液晶)車内案内表示器、紫外線を遮るUVカットガラス、立席のお客様の支えや着席しているお客様が立つ際などに利用するスタンションポールを全座席エリアに設置するなど、車内サービス向上を図っています。2003年から導入している3000形は、今回導入する3042編成が最終となり、合計326両となる予定です。

なお、3042編成(8両)は3月1日(金)に営業運転を開始する予定です。



LCD(液晶)車内案内表示器

以上